

令和6年6月20日(木)
大阪府立住吉高等学校

令和6年度 住吉高校 第1回 学校運営協議会 次第

1. 学校長挨拶

委員会の皆様に昨年度の課題を踏まえた今年度の学校運営協議会の計画や取り組みについてご確認いただき、さまざまなご意見を賜ることで、住吉高校の今年度の活動をよりよいものにするをめざす。

2. 委員紹介(敬称略)

○委員 6名

大塚 耕司(大阪公立大学 教授)、中西 洋(大阪市立阪南中学校校長・欠席)
森田 英嗣(大阪教育大学 教授)、森本 哲弘(後援会会長)
山内 憲之(PTA 会長)、山崎 大義(ベネッセコーポレーション)

○学校 13名

中山(校長)、久堀(教頭)、田仲(事務長) 稲木(首席)、内田(首席)
大門(総合科学科長)、西本(国際文化科長)、中川(国際部長)、三石(進路指導部長)
杉本(生活指導部長)、左(教育相談)、山田(総務部長 司会担当)、山内(記録担当)

3. 会長・副会長の選出及びあいさつ

会長： 大塚 耕司 様
副会長：中西 洋 様

4. 今年度の本校の取組みについて

(1) 本年度の学校経営計画について(中山校長)

- ・令和6年度学校経営計画及び学校評価
- 1. 学力向上と進路実現
 - ・STEPUP LABO が中心となって公開授業を通じた授業力向上
 - ・ICT 推進委員会が中心となって1人1台端末の体制を整備、タブレット端末を活用した公開授業の実施
 - ・働き方改革の取り組みとして部活動指導に関する方針を遵守し、業務の効率化を図る
- 2. 国際・科学高校としての質的な深化
 - ・探究サイクルを一般教科等に取り入れ、課題解決型の授業を実施する
 - ・海外の高校との国際共同研究やオンライン交流を広げる
 - ベトナムとの交流を実施できるように動いている

3. 地域で信頼され尊敬される品格と豊かな国際感覚、人権感覚の育成

- ・人権教育推進委員会を中心として、人権 HR や教職員研修の一層の充実を図る
- ・生活指導部を中心に学年団と連携し、挨拶指導などを通して、生徒が自らマナーや規律について考える機会をあたえる
- ・自治会を中心に生徒が主体的に行う体育大会、学園祭等の行事やコンテスト等への参加を充実させる

(2) 総合科学科の取組みについて (大門総合科学科長)

SSH 第四期がスタートし、文理融合型の探究を拡大、発展させていくということで採択総合科学科：「未来を切り開く力」

- 社会課題に対して、自分の意見を持ち、エビデンスをもって主張・実践できる
- 文理問わず、科学的アプローチができるようになる
テキストマイニングやデータ処理についても学ぶ
- 文理関係なく、自分の好きを探究=SUKIPRO

(3) 国際文化科及び国際部の取組みについて (西本国際文化科長)

- ・今年度の取り組み内容とその目標など

水曜7限の Super English、Super Korean の授業を90分実施、年間20回実施予定
土曜日 TOEIC 講習 53名を2グループに分け、90分講習

英語民間試験での数値目標「1年生90人以上、2年生100人以上がCEFR B1以上」
LETS 合同発表会(探究活動の発表会)とインターナショナルフェスティバル
(英語暗唱や英語スピーチ)←3年連続入賞している

2025年1月25日(土)開催

校内での英語暗唱大会(11月)、英語ディベート大会(2月)、英語合宿(3月)

(4) 国際部の取組みについて (中川国際部長)

①現状

- ・国際交流行事受け入れ

5月14日に46名のメキシコ3校からなる訪問を受け入れた

7月デンマーク学校体験、17日クムダン高校から訪問

8月、留学生受け入れは今年度、ドイツから3名、アメリカ2名の受け入れ

→国語の授業などでは抽出で保護者の方に日本語指導の協力をいただく予定

12月チョンダム高校から来校が決定、交流会や授業体験の予定

2月中山女子高級中学から来校予定、交流会や授業体験の予定

- ・語学研修

今年度の夏休みに約80名の生徒が海外研修に参加

①オーストラリア研修

→円安とインフレの影響で航空会社は昨年度から変更

→26名の設定で78名の応募

②ハワイ研修 →24名設定で応募も24名

現地の大学生にサポートしてもらいながら探究活動を進める

③韓国研修 →昨年度韓国語選択者数人だった、今年度20名

④グローバル塾→大阪府が募集、予算も20万程度でイギリスで講習を受けることができる。50名の定員に対し、9名が住吉高生(今まで0人)

⑤トビタテ JAPAN →政府が実施しているもの、1人が参加

⑥ケンブリッジ研修 →同窓会特別奨学金で支援をいただいて3名が参加

・国内での交流

① ラオスとのオンライン交流→ 年8回10人前後

② ECC グローバル体験 →今年は120名の生徒が参加可能、志願者は150人程度

③クムダン高校とのオンライン交流、訪問 年間2回程度の実施予定

④大阪マラソンボランティア

⑤JICA 出前授業、大阪大学留学生との交流

②課題

・海外研修費用の高騰化 →生徒の海外への関心が高く、募集人数は上回る

・引率の先生の費用負担

・交流を行う学校が増えたときの引率の先生の確保

③ユネスコスクール活動予定

・ユネスコスクールの行事と住吉高校の行事の日程が被っており、参加が難しい

・探究活動

「多様性」に注目し、本年度は校内の人権推進委員会・探究活動と連携し、

6月のプライド月間に合わせ、講演会やポスター展示を行う

(5) 進路指導部の取組みについて (三石進路指導部長)

①令和6年度入試の結果について

国公立大学合格率、私立大学合格率ともに低下

後期入試に出願はするも、前期入試での結果でリカバリーできなかった

2~3月の生徒へのサポートができなかったため、アプローチして後期まで粘れるように指導する

②今年度の取り組み内容やその目標

昨年度より、住吉高校の卒業生が来校し講演をしてもらう(同窓会からのご協力)

→直接話を聞いて、自分の進路実現につなげてもらいたい

(6) 生活指導部の取組みについて (杉本生活指導部長)

・遅刻指導

令和5年度は遅刻件数が各数年で最多

→より多くの教員によるきめ細やかな遅刻指導をおこない、相互対話の中で生徒の変容を求める指導に変化(今年度の3年生の学年から)

・挨拶マナーアップ計画

昨年度より実施している挨拶マナーアップ→今年度も継続

挨拶を肯定的にとらえられている生徒が増えているように感じる

・部活動への働きかけ→参加団体が5団体増加

・スマホ指導

スマホ指導で預かり指導をせずに、予防的な指導へ方向転換

「スマホの取り扱いに関して」…机の上に出さないことを強調

(7) 教育相談の取組みについて (左教育相談委員)

①現状

各学年担任会議などで名前のあがった生徒について情報を共有し、SC や SSW と連携し、ケース会議や支援委員会を行うなどの支援をしている。

SC は今年度17回程度来校予定、昨年度は火曜日(7限の日)→水曜日(6限の日)

継続して相談する生徒が多く、予定がつかまっている

SSW は年12回来校予定

経済的には安定している家庭が多いが、ヤングケアラーや自閉症の生徒がいる

中には、教室に入れない理由がわからない状態で保健室に訪れる生徒や本当の友達がいなくて悩む生徒が増えている

②課題

・希薄な友人関係

・ソーシャルスキル(友人関係構築能力)

・チームとしての支援体制・保護者との連携

●その他 (資料提供)

・教務部の取組みについて (山城教務部長)

・保健部の取組みについて (松本保健部長)

・自治会の取組みについて (植田自治会部長)

5. 質疑・協議

委員より

・国際的な活動が急激に増加、様々な苦労があると予想する。

・生徒にとって学びになる行事がたくさんあるのはよいが、相手方に失礼にならないように、持続可能な状態がどれほどのものなのか戦略的に取り組んだほうがいいのか？

委員より

- ・SUKIPROのこれまでと今回のウリは何でしょうか？
 - スーパーサイエンスは総合科学科のみが、理系の分野の中でチームをつくっていた
 - SUKIPROは分野を問わない、好きな、関心のある分野をテーマにしている
 - 問題へのアプローチに対してはエビデンスと科学的視点で説得力が必要

委員より

- ・中学校のときは、クラスに数人いたが、不登校は高校でも問題になっているのでしょうか？
 - 学年に数人いないことはないが、人間関係で悩んでいる生徒や不登校にならないければいいなという生徒はいるので教育相談と協力しながら対応していきたい

委員より

- ・持続可能な取り組みに向けて、どのように取り組むと生徒がどのように成長していくのかというロジックが意識化する必要があるのではないかと？
 - コロナ禍でオンライン交流を行い、コロナがあけつつある中で、オンラインを継続しつつも海外研修も増えると教員の負担が大きくなるため、計画を練る必要があり、おっしゃる通り。
- ・授業公開をすることが目的になるよりも、見て何を学んだかが大切なので、回数を指標の一つにしたほうがいいのでは？

委員より

- ・学校の取り組みの発信が地域の中学生に魅力を伝えるポイントになる。今回私立高校の授業料無償化に対してどのような対策をされているのか？ほかの学校では小学校や地域との交流をしている。
 - ①こども天文教室（保護者や子どもがたくさん参加）
 - ②学園祭の金曜日に近隣の小学生を招待 などを企画
 - 今年度は探究フェスティバルに中学生を招待して、発表してもらおう機会をつくりたい
 - 学校説明会や中学校への出前授業

委員より

- ・発信をするのは自治会とかにさせてみては？リアルの生徒の声を求めている人もいるのでは？
 - 各顧問の許可を得ながら、Instagramなどで生徒がアップしている部活動もある
 - 自治会という視点はなく、新しいと感じる

4. 校長謝辞

今会議でいただいたご助言・ご意見を基に、今年度の活動を充実させることをめざす。

5. 今後の学校運営協議会の開催予定について

第2回 令和6年10月11日(金) 15:30～

第3回 令和7年2月13日(木) 15時30分～17時